

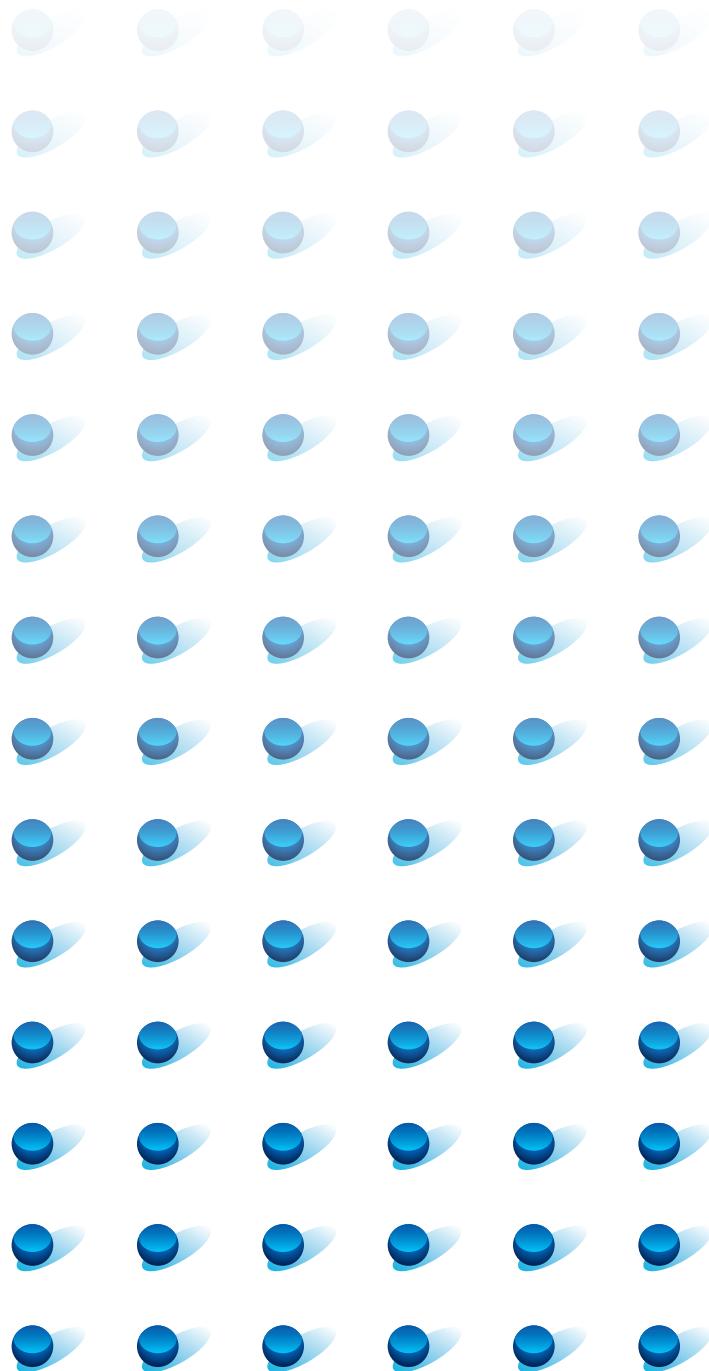


STAR'S REPORT

2013年2月期 中間報告書

スター精密株式会社

証券コード：7718



トップメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2013年2月期中間期(2012年3月1日から2012年8月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2012年11月



取締役社長

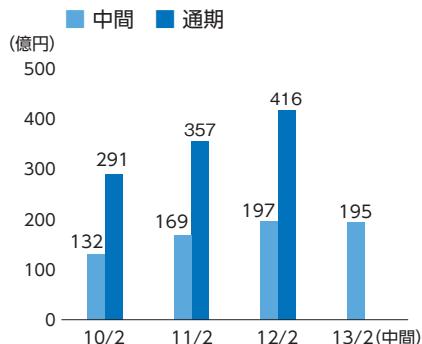
佐藤 肇

当中間期の業績について

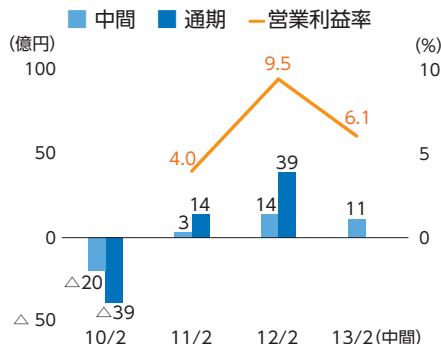
当中間期の経済情勢は、米国経済は緩やかな景気回復が続きましたが、欧州経済は債務問題が深刻化するなど低調に推移しました。また、アジア経済は中国などを中心に成長のペースが鈍化しました。一方、わが国経済は持ち直しの動きがみられました。なお、為替は円高水準で推移しました。

このようななか、当中間期の連結売上高は前年同期比0.7%減の195億9千5百万円となりました。利益については、売上の減少などにより、営業利益は前年同期比17.5%減の11億9千3百万円、経常利益は前年同期比17.2%減の12億7千9百万円となりましたが、特別損益でタイの洪水被害に伴う受取保険金などを計上したことから、中間純利益は前年同期比103.4%増の19億3千6百万円となりました。

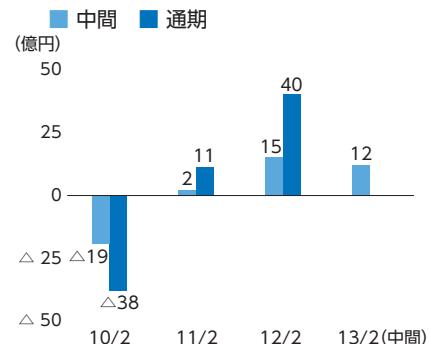
売上高



営業利益/営業利益率



経常利益



※2010年2月期は営業損失のため営業利益率を算出しておりません。

事業の状況について

特機事業の小型プリンターは、アジア市場でドットインパクト製品の売上が減少したものの、米州市場および国内市場ではサーマル製品が好調に推移し、欧州市場では前年同期並みの売上を確保したことなどから売上は増加しました。

コンポーネント事業では、当期末の事業終息に向けて最終出荷要求への対応や事業譲渡先への移管作業を進めるなか、車載市場向けは、自動車メーカーの生産増加や原材料の値上がりに伴う売価の改定などもあり、売上は増加しました。

工作機械事業では、米国市場で医療関連に加え自動車関連の設備投資が進み、アジア市場では東南アジアにおける自動車、自動二輪関連先などの設備投資が活発でしたが、主力の欧州市場は市況が低迷したこともあり、売上は減少しました。

精密部品事業では、腕時計部品は、後半にかけて腕時

計部品メーカーの生産調整の影響があったものの売上は増加し、非時計部品についても、海外のカーオーディオ向け部品が好調に推移したことなどから、売上は増加しました。

通期の見通しについて

今後の世界経済は、欧州の財政問題の影響から先行き不透明な状況が続くものと予想しております。

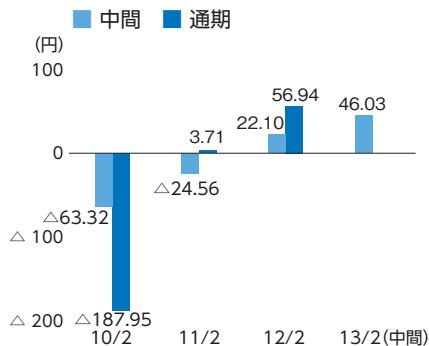
このような状況のなか、各事業の見通しについては、特機事業は、サーマル製品の販売増加などにより売上は増加するものの、利益は減少する見込みです。

コンポーネント事業については、当期末をもって事業を終息する予定ですが、顧客への供給責任を果たすために、最終出荷の対応を引き続き行うとともに、事業譲渡先への移管作業を進めていく予定です。

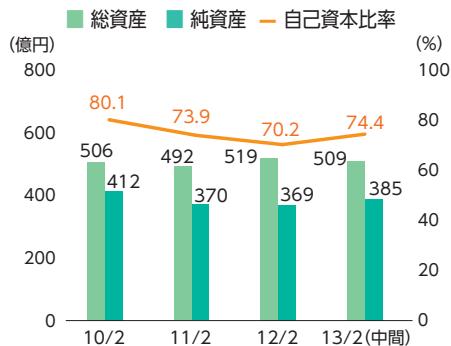
工作機械事業については、アジア市場での売上が増加し、米国市場での売上も底堅く推移する見通しですが、主

連結業績ハイライト

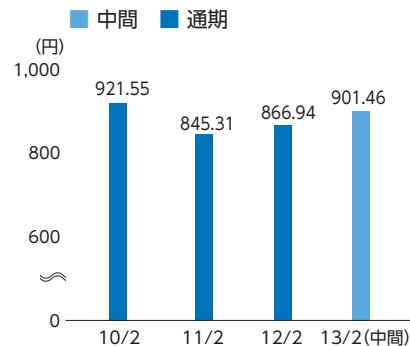
1株当たり純利益



総資産／純資産／自己資本比率



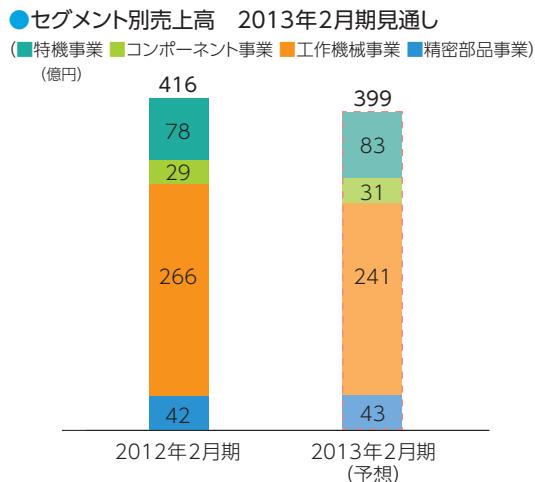
1株当たり純資産



トップメッセージ

力の欧州市場での売上が低迷することなどから、売上、利益ともに減少する見込みです。

精密部品事業については、非時計部品の売上は増加を見込むものの、腕時計部品の売上については、腕時計メーカーの生産調整が予想されるため、減少する見込みです。事業全体では、売上は増加するものの、利益は減少する見通しです。



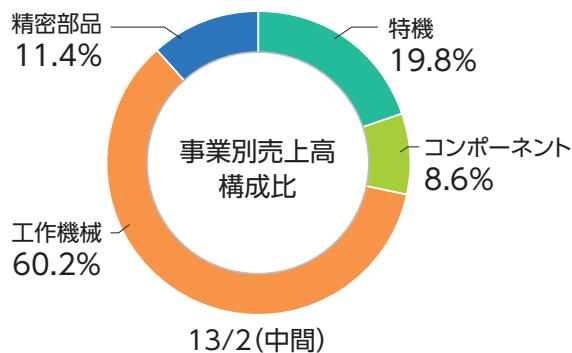
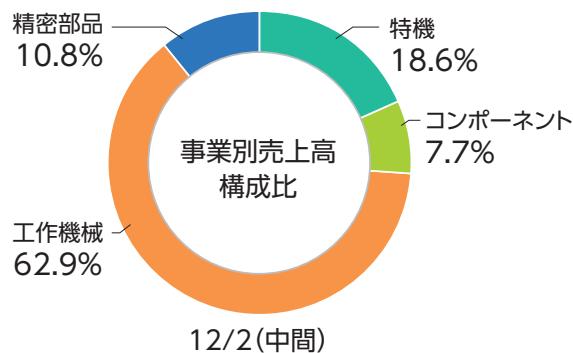
以上により通期の連結業績については、売上高は前期比4.2%減の399億円、利益は、売上の減少などにより営業利益は前期比41.8%減の23億円、経常利益は前期比37.9%減の25億円となりますが、当期純利益は、受取保険金などの特別損益を計上するため前期比19.5%増の29億円となる見込みです。

株主の皆様へ

当期の中間配当については、前期の中間配当に比べ1株当たり2円増配の15円とさせていただきます。期末配当についても同じく2円増配の1株当たり15円(中間配当とあわせて年間30円)を予定しております。

引き続き不透明な事業環境が見込まれるなか、最善の結果を出せるよう誠心誠意努めてまいりますので、株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント情報



事業別の概況

特機事業

小型プリンター
TSP100ECO

小型プリンターの売上は、米州市場では北米での案件獲得や新興国向け新製品BSC10の投入などにより、サーマル製品が好調に推移しました。国内市場も、POS市場向けを中心にサーマル製品が売上を伸ばしました。また、欧州市場では債務問題による影響を受けながらも売上は前年同期並みを確保しましたが、アジア市場では中国経済の成長鈍化などにより、ドットインパクト製品の売上が減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は38億9千2百万円(前年同期比5.8%増)となりましたが、営業利益は1億円(前年同期比49.1%減)となりました。



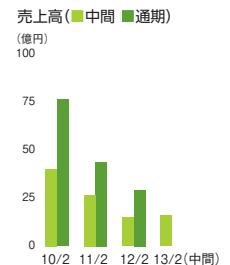
コンポーネント事業



スピーカー SAC-30A

当事業では、当期末の事業終息に向けて顧客への供給責任を果たすべく、最終出荷要求への対応や事業譲渡先への移管作業を進めるなか、車載市場向けは、自動車メーカーの生産増加や原材料の値上がりに伴う売価の改定などもあり、売上は増加しました。

以上の結果、当事業の売上高は16億8千1百万円(前年同期比11.0%増)、営業損益は1億2千1百万円の損失(前年同期は5億3千万円の損失)となりました。



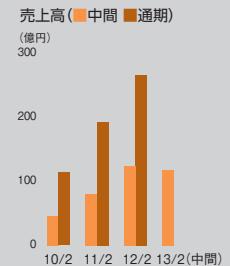
工作機械事業

スイス型CNC自動旋盤
SR-20RⅢ

CNC自動旋盤では、欧州の財政・金融への懸念が増し、中国経済などにも不透明感が漂うなか、欧州市場での需要が減速しました。

このような状況のなか、米国市場では、医療関連に加え自動車関連の設備投資が進み、売上は堅調に推移しました。アジア市場では、東アジアにおいて輸出の減速や円高による買い控えがみられたものの、東南アジアにおける自動車、自動二輪関連先などの設備投資が活発で、売上を伸ばしました。また、国内市場でも自動車メーカーの生産増加に伴い、売上を伸ばしました。一方、主力の欧州市場は市況が低迷したこともあり、売上は減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は117億9千1百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は18億3千9百万円(前年同期比19.7%減)となりました。



精密部品事業

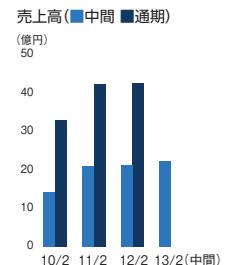


腕時計部品

腕時計部品の売上は、後半にかけて腕時計メーカーの生産調整の影響があったものの増加しました。非時計部品では、海外のカーオーディオ向け部品が好調に推移し、小型ハードディスク駆動装置(HDD)部品は国内向けの売上の減少を海外の増加で補うなど、非時計部品全体の売上は増加しました。

以上の結果、当事業の売上高は22億2千9百万円(前年同期比5.1%増)となりましたが、営業利益は3億2千9百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

なお、昨年洪水の被害を受けたタイ・アユタヤの生産拠点は、当中間期末までに復旧しました。



連結財務諸表【要約】

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期 2012年8月31日現在	前期 2012年2月29日現在
資産の部		
流動資産	35,967	38,302
固定資産	15,021	13,622
有形固定資産	11,567	10,289
無形固定資産	390	380
投資その他の資産	3,063	2,953
資産合計	50,989	51,924
負債の部		
流動負債	12,130	14,538
固定負債	347	406
負債合計	12,477	14,944
純資産の部		
株主資本	46,535	45,146
資本金	12,721	12,721
資本剰余金	13,876	13,876
利益剰余金	24,647	23,257
自己株式	△ 4,710	△ 4,709
その他の包括利益累計額	△ 8,606	△ 8,668
その他有価証券評価差額金	△ 2	23
為替換算調整勘定	△ 8,604	△ 8,692
新株予約権	22	10
少数株主持分	559	492
純資産合計	38,511	36,980
負債純資産合計	50,989	51,924

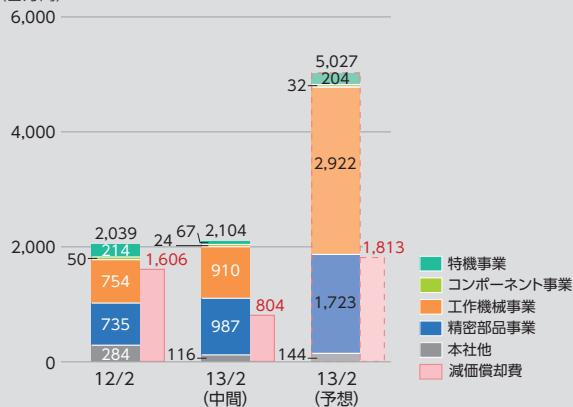
四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期(累計) 2012年3月1日から 2012年8月31日まで	前第2四半期(累計) 2011年3月1日から 2011年8月31日まで
売上高	19,595	19,742
売上原価	12,574	12,356
売上総利益	7,021	7,385
販売費及び一般管理費	5,827	5,939
営業利益	1,193	1,446
営業外収益	170	148
営業外費用	84	49
経常利益	1,279	1,545
特別利益	1,498	62
特別損失	400	63
税金等調整前四半期純利益	2,377	1,543
法人税、住民税及び事業税	411	383
法人税等調整額	△ 34	164
少数株主損益調整前四半期純利益	2,000	995
少数株主利益	64	43
四半期純利益	1,936	951

● 設備投資

(百万円)



主な設備投資実績および予定

事業	内訳
特機事業	新製品用の金型等
工作機械事業	タイ新工場建設 合理化、維持更新等
精密部品事業	タイ工場復旧・能力増強等
本社他	情報システム更新等

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	2012年3月1日から 2012年8月31日まで	2011年3月1日から 2011年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 613	1,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,026	△ 347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 561	△ 761
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	428
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 2,148	972
現金及び現金同等物の期首残高	14,735	13,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,586	14,189

● 株主還元

1株当たり配当額／配当性向／DOE



株主還元については、配当性向(連結)40%以上を目標にDOE(連結株主資本配当率)を勘案しながら実施していきたいと考えております。

当期の1株当たりの中間配当は15円(前期の中間配当に比べ2円増配)とさせていただきます。また、期末配当についても、同じく1株当たり15円(前期の期末配当に比べ2円増配)を予定しております。

()内数値は配当性向
 ※2010年2月期は当期純損失のため、配当性向を算出しておりません。

TOPICS

IRサイトリニューアル

当社ホームページIRサイト(投資家情報ページ)のリニューアルを、2012年8月に行いました。掲載情報の充実や、資料検索などにおける操作性の向上を図り、これまでよりさらに利便性の高いホームページとなっています。

<http://www.star-m.jp/ir/index.html>

<主な内容>

- 経営情報
- 財務・業績情報
- IR資料室
- 株式・株主情報
- IRカレンダー
- 個人投資家の皆様へ
- よくあるご質問

<トップメッセージ>

取締役社長の佐藤より、株主・投資家の皆様へ向けたメッセージを掲載しています。



<個人投資家の皆様へ>

当社のことをよりご理解いただけるよう、当社の歩み、事業、強みについてわかりやすく紹介しています。

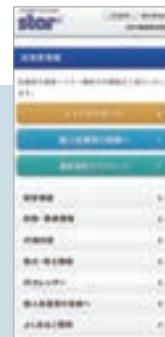


<最新資料ダウンロード>

最新IR関連資料(決算短信、決算説明資料、報告書、STAR'S REPORT、アニュアルレポート)を一括してダウンロードすることができます。

スマートフォンからもご覧いただけます

今回のリニューアルで、IRサイトは全ページスマートフォン対応となり、外出先などでも手軽にアクセスいただけるようになりました。



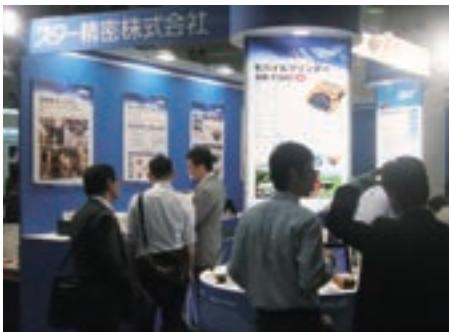
スター精密 IR

検索

NEWS

第2回スマートフォン&モバイルEXPO春に出展

2012年5月に東京ビッグサイトにて開催された、「第2回スマートフォン&モバイルEXPO春」に出展しました。これは、スマートフォンやモバイル端末に関するソリューション・サービスが一堂に出展される専門展です。当社ブースではモバイルプリンター4機種に加え、ソフトウェア開発支援キット「StarIO」の紹介を行い、連日多くの方にお越しいただきました。



NEWS

個人投資家向け会社説明会を開催

当社ではIR活動の一環として、例年個人投資家の皆様へ向けた会社説明会を行っています。当中間期は、5月9日に名古屋、8月8日に静岡で開催しました。当日は取締役社長の佐藤より、約1時間にわたり当社の事業内容、業績、将来展望などについてご説明させていただきました。両日とも多くの個人投資家の皆様にご来場いただき、当社のことを知っていただくよい機会となりました。

TOPICS

CSR(社会貢献)活動

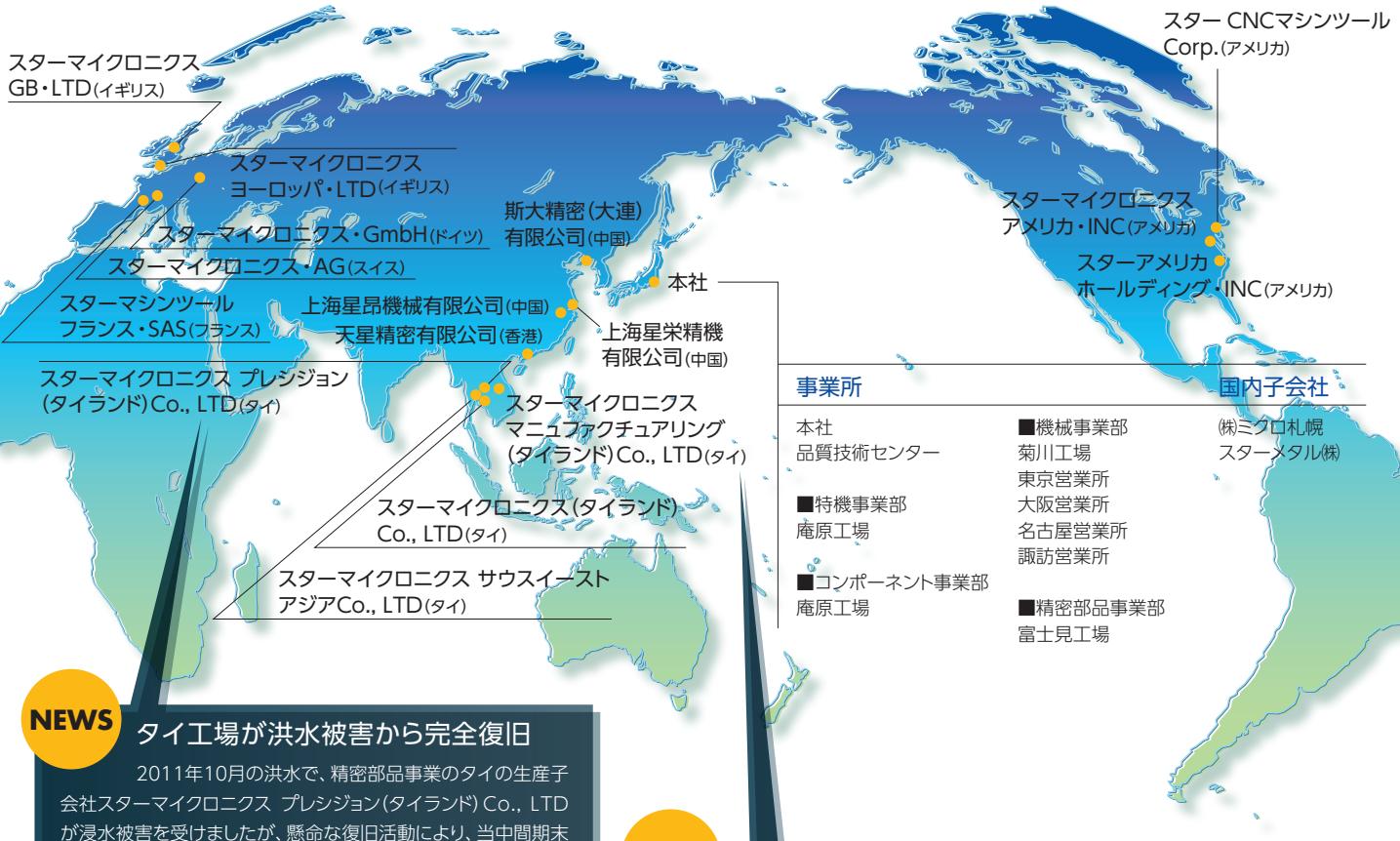
当社ではCSR活動の一環として、本社や事業所を置く静岡市内の海岸や河川の清掃奉仕活動に加え、団体献血への協力、回収した使用済み切手などの各種民間公益団体(NGO)への寄付等、さまざまな活動を行っています。また、環境省が呼びかける、ライトアップ施設等の電気を消すライトダウンキャンペーンへの参加など、省エネへの取り組みも継続して行っています。

これらの活動は社会・環境報告書としてまとめられ、毎年発行されています。当社ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



静岡での会社説明会の模様

グローバルネットワーク



NEWS

タイ工場が洪水被害から完全復旧

2011年10月の洪水で、精密部品事業のタイの生産子会社スターマイクロニクス プレジジョン(タイランド) Co., LTDが浸水被害を受けましたが、懸命な復旧活動により、当中間期末までに復旧が完了しました。復旧にあたっては、生産設備の増強を図り、水害前以上の能力をもつ工場となりました。

NEWS

稼働に向けて工場建設中

2012年2月に設立した工作機械事業のタイの生産子会社スターマイクロニクス マニュファクチュアリング(タイランド) Co., LTDでは、順調に工場の建設工事が進み、来春に稼働予定です。



建設中の工場棟

会社概況・株式状況 (2012年8月31日現在)

会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	586名 (注)契約社員等の当中間期の平均雇用人員106名を除いております。
営業品目	1.特機(小型プリンター、カードリーダーライター) 2.コンポーネント(電子ブザー、マイクロフォン、スピーカー、レシーバー) 3.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 4.精密部品(腕時計部品、通信機器用・自動車用・医療用等部品)

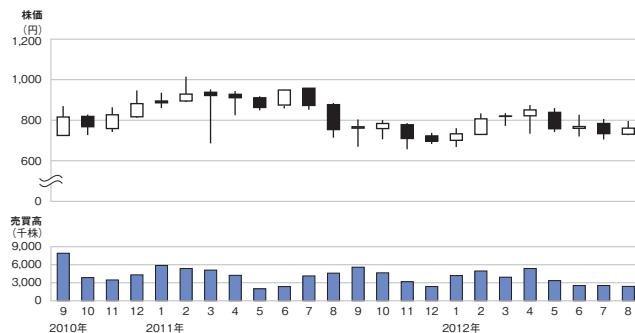
役員

代表取締役社長	佐藤 肇	監査役(常勤)	坪井 孝男
常務取締役	伏見 千秋	監査役	洞江 秀
取締役執行役員	田中 博	監査役	上野健二郎
取締役執行役員	倉前 隆	(注1)監査役3氏は、いずれも会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。	
取締役執行役員	村上 淳一	(注2)2012年3月1日から執行役員制度を導入しております。	
取締役執行役員	佐藤 衛		
執行役員	青木 隆之		
執行役員	杉浦 啓之		

株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	47,033,234株
株主数	10,755名

株価および株式売買高の推移 (東京証券取引所)

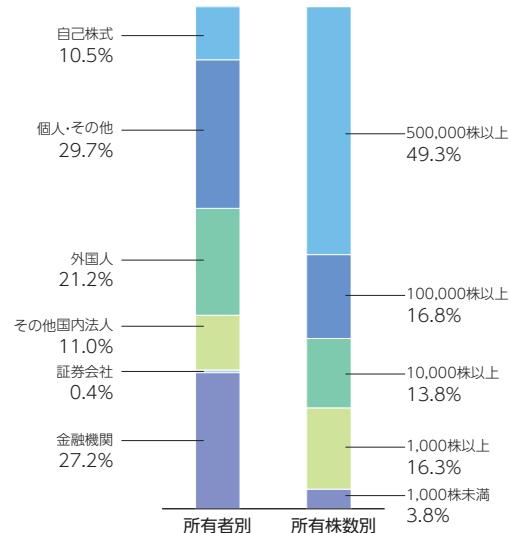


大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
タイヨパールファンドエルピー	2,500	5.9
シチズンホールディングス(株)	2,058	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,050	4.9
株静岡銀行	1,582	3.8
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,576	3.7
株みずほ銀行	1,348	3.2
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	1,326	3.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	1,117	2.7
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	1,071	2.5
リズム時計工業(株)	1,006	2.4

(注1) 当社は、自己株式4,957千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別・所有株数別分布状況



事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-49-7009 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.star-m.jp)
単元株式数	100株

●ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.star-m.jp>



株式に関するお手続きについて

お手続き内容	証券会社に口座をお持ちの株主様	お問合せ窓口
<ul style="list-style-type: none"> 住所・氏名等のご変更 単元未満株式の買取および買増請求 配当金の受領方法のご変更 	口座をお持ちの証券会社	証券会社に口座をお持ちでない株主様 特別口座の口座管理機関 東京証券代行株式会社* 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階) *三井住友信託銀行株式会社全国本支店 (コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Station を除く) においてもお取次しております。 《郵便物送付先・連絡先》 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話 0120-49-7009 (通話料無料)
	<ul style="list-style-type: none"> 未受領の配当金に関するお問合せ 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたします。 《連絡先》 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

ご案内 【本ご案内は2012年11月時点の情報をもとに作成しております。】

2013年1月1日から2037年12月31日までに生ずる配当金につきましては、その所得税額に2.1%を乗じた額が復興特別所得税として追加課税されます。

個人株主様への配当金に対する源泉徴収税率		
現在 (~2012年12月31日)	2013年1月1日~2013年12月31日	2014年1月1日~2037年12月31日
所得税7%	所得税7%+復興特別所得税0.147%=7.147%	所得税15%*+復興特別所得税0.315%=15.315%
住民税3%	住民税3%	住民税5%*

*2013年12月31日をもって軽減税率の特例が廃止されます。

スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10
TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

